

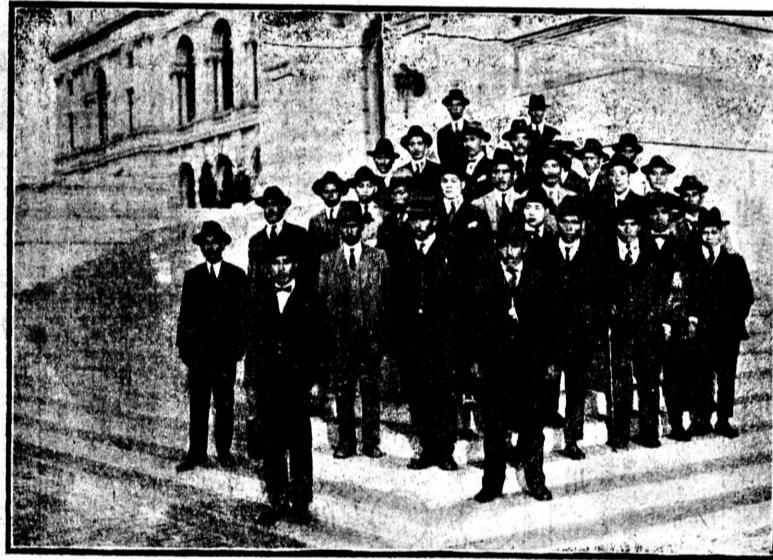
# 憲政の常道

白和西爾時報

**NOTÍCIAS DO BRAZIL**  
 Publicado semanalmente  
**Rua Fagundes N. 16**  
**Caixa Postal H**  
**Tele. Central, 5696**  
**S. Paulo, Brazil**  
**Proprietário e editor**  
**Seisaku Kuroishi**

**Assinaturas**

por Anno	165000
„ Semestre	93000
„ Mex	15000
„ Semana	3800



(照參事記號々前者席出會念記年十伯渡者航同九疾若年三正大) で 振 久 ま

# 現代的 國民外交の反省

三  
殊に清浦子の内閣組織に國民の不滿を醸せるは、子自身が人材として廣く政治家の中より大臣を選抜したのではなく、貴族院研究派の所謂若様連に於て、唯一時の出来心から物好に遭つたに過ぎないから、政黨連は踏みつけに遭つたと憤慨し、國民は馬鹿にするにも程がある怒り出したのであるが、兎に角國民を基礎として施さねばならぬ政治を、特  
ある譯書の忠告からまた懐かしい。然し伯國に於ては、我國富及經濟狀態のないアマゾンの地方を除いて、其以外を知る爲に、我輸出表のみを見るだけでは充分でない。  
の國内の經濟方は、漸増發展に發展しつゝある。  
我が生産増加を最もよく示すものは常的誤だとか考へられてゐた、何となりに輸出貿易である。其は我經濟上大なる價値たる事を表現し、我爲替市場を左右する。  
千九百十四年前には保護政策は經濟的誤だとか考へられてゐた、何となりに輸出貿易である。其は我經濟上大なる全然業國たる一國が、關稅の下に障壁に倚つて一の空想的工業を守り立てるやうと望んでゐた、所が保護政策は偶然の事情から怪我の功名と云ふ結果となつたのである。  
即ち歐洲の工業は戦争の爲に莫大な

國民外交の反省(四)  
杉森孝次郎

識もござく反感なら、それは立派に批判だ。つづいて相手を改作し、創造的に感化するなり、教育するなり、調伏するなり、折伏するなりの如き、たる態度と行動にござること、人々の理想にふさはしむる、國の時代に於ては永時的に、來住中の外人や、異邦人は異民族として全く知られることが、國民外交から來る訪問者一般等に對しても、國民的有名有實にするための一必要條件民の各長官が、臨時、隨處に友愛と敬意を示す。知識は情愛を生む。勿論、知識親と理解と、相手の眞の必要または

外電一束  
大工が大統領候補

オレゴン州ポートランドのフランク・ジョンス(ト)と云ふ大工は労働黨の大會で米國大統領候補者に選出され資本主義的組織を破壊するのが同黨の基本政綱だと聲明した(紐育)

エルゼルムの地震

十四日アルメニアのエルゼルム地方に激震あり數村落を破壊し死者五十人以上に達した(君府)

孫逸仙逝

香港から南支那共和国大總統孫逸仙死去の確報があつた(倫敦)

國際移民會議開會

國際移民會議は十五日午前十時伊

皇帝及ムソリニ首相席の下に移民

死

去の確報があつた(倫敦)

國務委員會總裁デ・ミケリス氏議員

さなつて開會ムソリニ首相は開會の辭を述べた(同會議參加國數五十八其

代表者二百名に達す尙十三日に伯

先頃伯林に於ける露國商務委員事務所へ獨逸警官隊が共產黨員匿匿疑

此會議に關して協議する所あり十四

五月伯林を起し獨逸行商品積込を

た(羅馬)

露國獨逸に謝罪要求

國代表はミケリス總裁と長い間種々

の爲使入した事から露國大使

日本には外務省内で豫備會議が開かれ









## 總選舉の結果は 護憲二派の大勝利

沼津、盛岡の大混戰  
加藤氏新内閣組織説

(十四日東京電報) 横濱院では聯合國  
議院議員選舉の結果に就き、當地を退かうとは思はぬとして内務省司  
法大臣は時局を解決する必要と信  
十日總選舉の結果は北海道第九區  
二名を除く外十三日午前内務省に云ふ宣言書を發表した

先づ來バニア・ベルナンゴ・マラ  
ニホン其他北伯諸州各地に降雨引續  
ノス條約を裁可した

神戸迄の汽車貨物在荷物運賃は  
旅券下附手數料種痘料等の諸費用は  
六月上のリガ・ナシオナリックの許  
議會では既報のリオの内國學會等  
が伯國に對しては日本移民を否なり  
た決議をした事に共鳴して同會數  
月後も再び同會で投票が出来た者で  
云ふのでその義行は伯人に強

動は探らないと聲明した  
ヨキシコ九で二百五十二名  
國民聯盟も

北の洪水南の旱魃  
不日本移民説に賛成

デ・マヤド・ソアレス及ジョルナ  
ド・モアーティア

ローザンヌ條約

樞密院通過

トマサ・モアーティア

